

“きこえない自分”と向き合おう

自立活動部 A

みなさんは、学習や部活動、行事などいろいろな活動に一生懸命取り組んで、充実した学校生活を送っていることでしょう。普段の会話では、先生や友達とは、ゆっくり大きな声で話したり、手話や筆談をしたりなど、いろいろな方法でコミュニケーションをしていますね。また、入学式や卒業式などでは、集団補聴システムの活用に加えて、文字情報をスクリーンに映したり、手話通訳を見たりして情報を取得しています。みなさんは、情報を得ることに不自由することなく、恵まれた環境にいます。

では、聾学校を卒業した後、社会人あるいは大学生になったときに自分の力で誰とも会話して生活できるでしょうか。聾学校と同じような理解や配慮をしてもらえるのは、簡単にできることではないのです。自分から動かない限り、相手は気付かないことが多いです。様々な場面で困難に出会うことが多くなるでしょう。例えば、私も様々な困難に悩んだり、解決した喜びを味わったりしてきました。詳しくは、私が大学生の時のことを次のページに載せたので、読んでください。

さて、聾学校卒業後を考えて時に、次の3つができるようになると、卒業後の人生を楽しく生きていくことができると私は思います。

①「聴覚障がい」について知る。

→周りの人に聴覚障がいやお願いしたいことを説明することができる。

2つ目は、自分の「きこえ」と「発音」の状態を知り、コミュニケーション手段を工夫することで、周りの人と良い関係を築くことができる。

②聴覚障がいによって起こる困った場面で解決できる力を身に付ける。

→情報保障の方法を知り、言いたいことを伝えたり、必要な情報を集めたりすることができる。

③耳がきこえない私を受け入れる。

→自分の存在を見つめ直し、聾学校を卒業した後も生き生きと生活できる。

この自立活動だよりをきっかけにして、自立活動の時間に先生や友達と話し合ったり、家族と話し合ったりして、“自分”を受け入れていけると嬉しいです。そして、社会で生きていくために必要なことを学んで、卒業後も堂々と生きていく力を付けていきましょう。

「あの、私、耳がきこえないんです。聴覚障がい者です。」

A

私自身、高等部まで聾学校で何の問題もなく勉強や部活動に励み、充実した学校生活を送ることができた。しかし、聾学校を卒業してからの生活が想像以上に大変だった。美容院や病院、市役所など高校時代まで1人では行ったことのないところで話をしなければならない機会が増えてきた。そのとき、心のどこかで迷っている自分がいたため、「聴覚障がい者です。」と言えないままだった。相手は聴覚障がい者だとは分からず、当然普通に話していた。いろいろな音が聞こえてくる中でうまく聞き取れず、その後失敗をしてしまうことがよくあった。大学での友達と話をするときも、“音”にしか聞こえてこない中で作り笑いをしたり分かったふりをして我慢しながらやり過ごしてきたこともあった。色々な失敗を繰り返していくうちにストレスがたまったり、もがき苦しんだりする自分がいた。

ところが、大学生のときに出会ったきこえない仲間たちと過ごしていくなかで辛い気持ちはうすれていった。それは、きこえない仲間たちと旅行に行った時のこと。旅館の受付でスタッフとうまく話ができなくて困ったときに、ある聴覚障がい者の友達が、「私は耳がきこえません。筆談をお願いします。」と迷うことなく筆談をお願いした。すると、スタッフはペンとメモ帳を取り出して筆談をやり始めてくれた。話がほとんど通じたことに加え、雰囲気も良くなってその場があたたかい空気に包まれた。さらに翌日チェックアウトの際、スタッフがわざわざ手話で「ありがとうございます。」とあいさつしてくれた。耳がきこえないことを堂々と話した友達の姿勢に受けた衝撃と、人々が助け合いながら繋がっていく感動は今でも忘れられない。“自分から動く”姿勢が大事だと、再認識させられた日だった。

あれから、私も勇気を振り絞って「あの、私、耳が聞こえないんです。聴覚障がい者です。〇〇をお願いできませんか。」と言えるように努力した。その結果、かかりつけの病院や美容院では、簡単な手話や筆談でやりとりできる関係にまでなった。気が付けば、初めて行くところでも、平気で「耳がきこえません。〇〇をお願いします。」と当たり前のように言えるようになった自分がいた。

それから、私は「耳がきこえないって嫌だ・・・」から「耳がきこえない私でも、自分から動けば何とかなる」とポジティブな気持ちになった。きこえない自分に向き合えるようになるまでに費やした時間はあったけれども、逆に貴重な時間であったように思う。将来は、きこえない教員として、きこえない子どもたちに「きこえなくても大丈夫、きこえない自分でいてもいいんだよ。」と伝えたいと思っている。